

ディスクロージャー2022

令和4年度上半期 経営情報(令和4年9月末現在)

杜 陵 信 用 組 合

●経営情報の開示について

皆様には、日頃より格別のご愛顧を賜り、心よりお礼申し上げます。
 この度、令和4年度上半期(令和4年4月1日～令和4年9月30日)における経営情報をとりまとめましたので、皆様方にご理解を深めていただくための資料として、ご高覧賜りたいと存じます。

●貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和3年9月期	令和4年9月期
(資産の部)		
現金	94,250	102,206
預け金	5,705,078	5,211,852
有価証券	7,600,450	8,020,406
貸出金	8,701,134	8,381,503
その他資産	190,293	185,347
有形固定資産	7,890	4,792
無形固定資産	3,029	1,890
繰延税金資産	6,447	79,141
貸倒引当金	△ 2,377	△ 1,781
(うち個別貸倒引当金)	△ 1,265	△ 957
資産の部合計	22,306,197	21,985,358

科目	令和3年9月期	令和4年9月期
(負債の部)		
預金積金	19,521,400	19,378,909
借入金	-	-
その他負債	19,388	19,656
賞与引当金	7,153	7,061
退職給付引当金	110,944	99,414
役員退職慰労引当金	828	1,205
その他引当金	286	-
繰延税金負債	-	-
負債の部合計	19,660,001	19,506,246
(純資産の部)		
出資金	211,220	207,580
利益剰余金	2,363,740	2,398,935
組合員勘定計	2,574,961	2,606,516
その他有価証券評価差額金	71,234	△ 127,404
純資産の部合計	2,646,196	2,479,112
負債及び純資産の部合計	22,306,197	21,985,358

●損益計算書

(単位：千円)

科目	令和3年9月期	令和4年9月期
経常収益	129,092	124,406
資金運用収益	115,656	111,677
役務取引等収益	13,168	12,339
その他業務収益	266	338
その他経常収益	-	51
経常費用	96,148	95,572
資金調達費用	3,175	3,019
役務取引等費用	13,508	13,244
その他業務費用	22	-
経常費用	78,873	78,887
その他経常費用	567	420
経常利益	32,944	28,834
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税引前当期純利益	32,944	28,834
法人税、住民税及び事業税	8,889	8,017
法人税等調整額	△ 419	△ 675
法人税等合計	8,470	7,341
当期純利益	24,473	21,493
繰越金(当期首残高)	8,701	6,877
目的積立金取崩額	-	-
当期末処分剰余金	33,175	28,370

●貸出金・預金積金・預け金・有価証券平均残高

(単位：千円)

科目	令和3年9月期	令和4年9月期
貸出金平均残高	8,737,517	8,495,286
預金積金平均残高	19,320,116	19,388,205
預け金平均残高	5,790,684	5,343,689
有価証券平均残高	7,164,475	7,962,759

●業務純益

(単位：千円)

項目	令和3年9月期	令和4年9月期
業務粗利益	112,385	108,091
業務純益	33,537	29,203
実質業務純益	33,511	29,203
コア業務純益	33,511	29,186
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	33,511	29,186

●預金種別残高

(単位：百万円、%)

種目	金額	構成比
流動性預金	3,009	15.52
定期性預金	16,369	84.47
合計	19,378	100.00

●預金者別残高

(単位：百万円、%)

種目	金額	構成比
法人	2,770	14.29
個人	16,608	85.70
合計	19,378	100.00

●業種別貸出先数・金額

(単位：件、千円)

業種別	貸出先数	運転資金	設備資金	合計金額
法人	-	-	-	-
地方公共団体	-	-	-	-
個人	1,561	1,856,596	6,524,907	8,381,503
合計	1,561	1,856,596	6,524,907	8,381,503

●自己資本比率

(単位：千円、%)

項目	令和3年 9月期	令和4年 9月期
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	2,574,961	2,606,516
うち、出資金及び資本剰余金の額	211,220	207,580
うち、利益剰余金の額	2,363,740	2,398,935
うち、外部流出予定額(△)	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,111	824
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,111	824
うち、適格引当金コア資本算入額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	2,576,073	2,607,340
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	2,191	1,367
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	2,191	1,367
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く)の額	-	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る15パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	2,191	1,367
自己資本		
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	2,573,882	2,605,973
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	10,744,758	11,235,956
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	425,347	420,062
信用リスク・アセット調整額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	11,170,106	11,656,018
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	23.04	22.35

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。

●協金法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況（単位：千円、％）

区 分		残高 (A)	担保・保証額 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 (B+C)/(A)	引当率 (C)/(A-B)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和3年9月期	923	-	923	100.00	100.00	
	令和4年9月期	913	-	913	100.00	100.00	
危険債権	令和3年9月期	1,566	-	342	21.87	21.87	
	令和4年9月期	274	-	44	16.14	16.14	
要管理債権	令和3年9月期	13,395	6,507	-	48.57	-	
	令和4年9月期	39,788	15,947	-	40.08	-	
	三月以上延滞債権	令和3年9月期	6,507	6,507	-	100.00	-
		令和4年9月期	35,539	15,947	-	44.87	-
	貸出条件緩和債権	令和3年9月期	6,888	-	-	-	-
		令和4年9月期	4,248	-	-	-	-
小 計	令和3年9月期	15,885	6,507	1,265	48.93	13.49	
	令和4年9月期	40,975	15,947	957	41.25	3.82	
正常債権	令和3年9月期	8,699,638	-	-	-	-	
	令和4年9月期	8,353,978	-	-	-	-	
合 計	令和3年9月期	8,715,524	-	-	-	-	
	令和4年9月期	8,394,953	-	-	-	-	

《参考》不良債権比率：令和3年9月期 0.18% 令和4年9月期 0.48%

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権(1に掲げるものを除く。)です。
3. 「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金(1及び2に掲げるものを除く。)です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的とし、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金(1、2及び4に掲げるものを除く。)です。
6. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権(1、2及び3に掲げるものを除く。)です。
7. 「担保・保証額」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他の資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。
10. 金額は決算後(償却後)の計数です。

●有価証券の時価情報（単位：百万円）

●その他有価証券で時価のあるもの

	種 類	令和3年9月期			令和4年9月期		
		貸借対照表 計上額	取得原価	評価差額	貸借対照表 計上額	取得原価	評価差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	0	0	0	1	0	0
	債 券	6,111	5,998	113	1,830	1,799	31
	国 債	101	99	2	100	99	0
	地 方 債	1,326	1,299	26	209	200	9
	社 債	4,683	4,598	84	1,521	1,499	21
	外 国 証 券	-	-	-	-	-	-
	小 計	6,112	5,999	113	1,831	1,800	31
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	0	0	-	0	0	-
	債 券	1,487	1,502	△ 14	6,188	6,396	△ 207
	国 債	-	-	-	275	295	△ 20
	地 方 債	297	300	△ 2	549	600	△ 50
	社 債	1,190	1,202	△ 12	5,364	5,500	△ 136
	外 国 証 券	-	-	-	-	-	-
	小 計	1,487	1,502	△ 14	6,188	6,396	△ 207
合 計	計	7,600	7,501	98	8,020	8,196	△ 176

※満期保有目的の債券および売買目的有価証券につきましては、当組合は該当ございません。

岩手県職員の金融機関

杜 陵 信 用 組 合

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内

TEL (019) 651-5550 FAX (019) 652-8115

ホームページ <https://www.toryo-shinkumi.jp>